

広島大学学術情報リポジトリ

Hiroshima University Institutional Repository

Title	シナイが「未完了」を表す文脈的条件について
Author(s)	道法, 愛
Citation	国文学攷 , 255 : 37 - 51
Issue Date	2023-12-31
DOI	
Self DOI	
URL	https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00054792
Right	本誌に掲載された論文等の著作権は、著者に帰属します。
Relation	



シナイが「未完了」を表す文脈的条件について

道 法 愛

1. はじめに

日本語において未完了、すなわち、発話時に事態が開始限界に達していないこと、また、発話時に事態が終了限界に達していないことは基本的にシテイナイで表される¹。以下(1)は開始限界に達していないことを述べる場合であり、(2)は終了限界に達していないことを述べる場合である。

- (1) (妻はおせちの準備をしながら駅伝のランナーがスタートしたかどうかを気にかけている。妻はテレビを見ている夫に)

妻「もうスタートした?!」

夫「まだ開始時間になってないから走ってないよ。」

- (2) (飲み会会場に着くと、来ると言っていた友人の姿がなく)

「あれ?来るって言ったのに来てないな。」

他方、スルの否定形式であるシナイが、発話時における開始限界未達成、あるいは発話時における終了限界未達成の意味解釈を持つ場合がある。例えば、(3)(4)のシナイは発話時における開始限界未達成を問題にする発話として、また、(5)(6)のシナイは発話時における終了限界未達成を問題にする発話として解釈可能である。

- (3) (妻はおせちの準備をしながら駅伝のランナーがスタートしたかどうかを気にかけている。妻はテレビを見ている夫に)

妻「もうスタートした?!」

夫「いや、開始時間は過ぎているけどまだ {走らない / 走ってない} な。」

- (4) (病気のうさぎがご飯に口をつけてないのを見ながら)

「うさぴー、ご飯 {食べない / 食べてない} なあ。」 (道法・白川2019: 1)

- (5) (飲み会で幹事が出席者を確認している)

「おかしい、田中が {来ない / 来てない} な。」

- (6) それから一週間経ったが、

別送されたはずの「霧の中」の抜粋はまだ {届かない / 届イテイナイ}。もう一度、手紙を読み直してみると、別送のようにまとめてみたと書かれてあるが、これと同時に今送るところだと書かれていない。(BCCWJ OB 2 X_00288)²

本稿では、(3)~(6)のように発話時における開始限界未達成または終了限界未達成を述べる場合に使用可能なシナイを、便宜上“シナイの「未完了」”と呼ぶ。

シナイはいつでも「未完了」という意味解釈が可能なのではない。例えば、前掲の(1)においてシナイを使用した場合には、「当分実現しない」という意味になり、「未完了」の意味解釈はできない(=(1')。また、(2)においてシナイを使用した場合には不自然さが感じられる(=(2')。)

(1') (妻はおせちの準備をしながら駅伝のランナーがスタートしたかどうかを気にかけている。妻はテレビを見ている夫に)

妻「もうスタートした?!」

夫「まだ開始時間になってないから {走ってない / #走らない³} よ。」

(2') (飲み会会場に着くと、来ると言っていた友人の姿がなく)

「あれ?来るって言ってたのに {来てない / ??来ない} な。」

このように、シナイはある特定の条件下において、「未完了」の意味解釈を持ちうるこ
とが分かる。本稿では、どのような条件下でシナイが「未完了」を表すのかを明らかに
することを目的とする。

2. 先行研究と残された課題

シナイが「未完了」を表す条件については、動詞の語彙的性質によるとする立場(日高1995)と文脈によるとする立場(工藤1996、尾崎2000、道法・白川2019)がある。動詞の語彙的性質については、道法・白川(2019)で、日高(1995)であげられている動詞であっても文脈の関わりがなければシナイの「未完了」は使用しにくいことが指摘されており、文脈がより本質的な条件であると予想される⁴ため、本稿では扱わない。ここでは、シナイが「未完了」を表す重要な文脈の特徴を指摘している工藤(1996)と尾崎(2000)の記述を取り上げる⁵。

2.1 工藤(1996)

工藤(1996:93)では、既に実現済みであると想定された出来事の、現在における非アクチュアル化、すなわち、現在実現していないことを表すのはシテイナイである一方、

(7)(8)のように出来事がアクチュアル化（現象）すること、すなわち、事態が実現済みであること⁶が「話し手または聞き手によって強く〈期待〉されている場合」にはシナイの使用が可能になるとしている。例えば、(7)では子猫をふり上げて材木の上に叩きつけるという、死ぬことを期待した話し手の意図的働きかけ性から、また、(8)では「昭子さん、何を探しているの」という聞き手の言葉から事態が実現済みになると期待されているとする。

(7) 登は思い切り子猫をふり上げ、材木の上に叩きつけた。 指の間にはさまっていた温かく柔らかなものが、空気を切って、飛び去るのはすばらしかった。しかし指にはまだ、柔毛の感触がほのかに残っていた。

「まだ死なない。もう一度」 (工藤1996 : 93 波線は引用者による)

(8) 「昭子さん、何を探しているの」

「お父さんの胃腸薬。どこかに大量にある筈なんだけど見つからないのよ」

(工藤1996 : 95)

2.2 尾崎 (2000)

尾崎 (2000) はシナイが「未完了」を表す発話のタイプを考察し、シナイの「未完了」が使用されるのは事態が成立しないことを話し手が直接観察・確認する場合だとしている。例えば、以下(9)(10)におけるシナイの適切性の違いについて、(9)は自分の家の桜を話題にし、直接観察しているが、(10)は京都の桜を話題にし、直接観察していないために使用しにくいと説明している。

(9) もうそろそろ五月だけど、うちの桜、まだ {咲いてない / 咲かない} の。

(10) 「明日京都に行ってくる」

「今行っても、まだ桜 {咲いてない / #咲かない} よ。」

((9)(10) 共に尾崎2000 : 45)

さらに、尾崎 (2000) は、事態が成立しないことを直接観察・確認する場合のシテイナイとシナイの違いについても考察し、シテイナイとシナイでは話し手の時間の捉え方が異なることを指摘している。例えば、「ずっと見ているんだけど」のように時間の流れを表す表現との共起を見た場合、シナイは共起するがシテイナイは共起しにくい (=11)。一方で、発見を表す「あっ」のように、現在一点のことを表す表現とシナイは共起しにくい (=12)。

(11) オープンの中をずっと見ているんだけど、

シュークリームが {膨らまない / *膨らんでいない}。

(12) (シュークリーム焼き上がりを確かめるためにオープンのをぞいで)

あっ、{*膨らまない / 膨らんでいない}。

(11)(12) 共に尾崎2000: 47)

このことから、尾崎 (2000:52) は、シテイナイが「話し手が現在の一点に視点をあて、事態の成立が認められないことを直接観察・確認して」述べる表現であるのに対し、シナイは「話し手が時間の推移と共に自らも視点を移動させて各々の時点をリアルタイムで捉え、各時点で事態が成立しないことを直接観察・確認して」述べる表現だと結論づけている。

2.3 工藤 (1996)・尾崎 (2000) の問題点

以上、工藤 (1996) と尾崎 (2000) の記述を概観したが、両論文はそれぞれシナイが「未完了」を表す重要な文脈的特徴を捉えている。

例えば、冒頭に挙げた(3)と(1')の文法性判断の違いは、工藤 (1996) の指摘する「話し手あるいは聞き手が実現済みだと期待している」という特徴から説明可能である。

(13) (妻はおせちの準備をしながら駅伝のランナーがスタートしたかどうかを気にかけている。妻はテレビを見ている夫に)

妻「もうスタートした?!」

夫「いや、開始時間は過ぎてているけどまだ {走ってない / 走らない} な。」

(3)再掲

(13') (妻はおせちの準備をしながら駅伝のランナーがスタートしたかどうかを気にかけている。妻はテレビを見ている夫に)

妻「もうスタートした?!」

夫「まだ開始時間になってないから {走ってない / #走らない} よ。」

(1')再掲

両例は非常によく似ているが、(13)のシナイは「未完了」を表す一方、(13')のシナイは「未完了」の意味解釈にはならない。この違いは、(13)は、「開始時間を過ぎているのだからスタートしていてもいいはずだ」という実現済みへの期待のもと述べられているが、(13')にはそのような期待はなく、むしろ「開始時間になっていないのだからスタートしてははずがない」という考えのもと述べられているためだと考えられる。

また、(14)の不自然さは尾崎 (2000) の「話し手が実現済みでないことを各時点で直接観察・確認する」という特徴により説明可能である。

(14) (飲み会会場に着くと、来ると言っていた友人の姿がなく)

「あれ? 来ると言っていたのに {来てない / ??来ない} な」

(2')再掲

(14)は「来るって言っていたのに」という言葉から、友人が来ていると期待されていることがわかるが、シナイが使用しにくい。これは、(14)が飲み会会場に到着した場面であり、各時点で実現済みでないことを話し手が確認していないためだと考えられる。

このように、工藤（1996）と尾崎（2000）は、それぞれがシナイが「未完了」を表すための重要な文脈の特徴を捉えているように思われる。

しかし、両論文には問題も残る。

まず、工藤（1996）の問題点について述べる。工藤（1996）であげられている用例や説明から、同論文でいう「期待」とは、実現済みだと望んでいることだと解釈されるが、実現済みだと話し手（あるいは聞き手）が望んでいなくとも、シナイが「未完了」を表す場合がある。

次の(15)を見られたい。(15)は「安心した」という言葉からも分かるように、故郷が変化していると話し手が望んでいるとは考えにくいように思われる。

(15)（久しぶりに故郷に帰り）

「前に帰省した時から随分経つが、{変わらない / 変わってない} な。安心した。」

(15)のような場合にもシナイが使用されることを考えると、実現済みだと話し手（あるいは聞き手）が期待している場合にシナイが「未完了」を表すとするのは的確ではないだろう。

また、尾崎（2000）の問題点として、話し手が「各時点」で「直接観察・確認」していない場合であってもシナイの「未完了」が使用可能であることがあげられる。(16)は、事態が実現済みでないことを、話し手が初めて、かつ、電話で間接的に知っている場合であるが、シナイの「未完了」の使用が可能である。

(16)（買い物に行った夫が帰ってこないで電話をしたら、店が閉まっているという。

妻は電話を切り、不満気に）

「11時なのにまだ {開かない / 開いてない}。早くご飯作らなきゃいけないのに。」

シナイの「未完了」を使用した場合、事態が実現済みでないことを以前から発話時を含めて幅的に捉えられるのは確かであるが、話し手が「各時点」で「直接観察・確認」している必要があるのかについては検討の余地があるように思われる。

2.4 道法・白川（2019）と残された課題

本稿と同様の問題意識を持って問題解決を試みたのが道法・白川（2019）である。道法・白川（2019）は、「事態が実現済みかどうかを話し手が問題にしている」（p.6）こと

が重要だと結論づけている。

同論文の記述は、(15)(16)のような例を含めて、シナイが「未完了」を表す文脈の特徴を包括的に捉えられるが、その一方で、工藤（1996）や尾崎（2000）で指摘されているシナイの「未完了」の特徴が却ってわかりにくくなっている憾みがある。例えば、(13')(14)でシナイの「未完了」が使用しにくいのは、(13')では工藤（1996）の指摘する特徴が、(14)では尾崎（2000）の指摘する特徴が満たされていないためだと前述したが、道法・白川（2019）の記述に則った場合、両例はどちらも事態が実現済みかどうかを問題にしていなかったためだと説明されることになり、「話し手が実現済みかどうかを問題にする」とは、結局、話し手が事態をどのように捉えることなのか明らかでないように思われる。このように、道法・白川（2019）の記述は、シナイが「未完了」を表す文脈の特徴がわかりにくく、また、それゆえにシナイが「未完了」を表すためにどういった文脈的条件が重要になるのかがいまだ不明確である。

そこで、本稿では、実例と作例をもとに、工藤（1996）の指摘する「話し手あるいは聞き手が実現済みだと期待している」という文脈的特徴（以下「期待」とする）と尾崎（2000）の指摘する「事態が実現済みでないことを話し手が各時点で直接観察・確認する」という文脈的特徴（以下「各時点での直接観察」とする）それぞれについて捉え直し、シナイが「未完了」を表す文脈的条件について再検討を行う。さらに、文脈的条件を踏まえ、シナイが表す「未完了」とはどういった表現なのかを明らかにしたい。

3. 「各時点での直接観察」に関する考察

シナイの「未完了」の特徴の一つとして、当該事態が実現済みでないことを以前から発話時まで幅的に捉えるということが挙げられる。例えば、以下の(17)において、シナイを使用した場合には、シナイを使用した場合と比べて「ずっと待っている（が戻らない）」といったニュアンスが表れる。

(17) A「憲一は帰りませんか？」

B「まだ {戻りません / 戻ッテオリマセン} の。」 (日高1995 : 154)

また、発話時の状態のみを捉えて、事態が実現済みでないことを述べる場合、シナイの「未完了」は使用できない。そのため、(18)のように事態が実現済みでないことを話し手が初めて知るような場合には、シナイの「未完了」は使用しにくい。

(18) (飲み会会場に着くと、来ると言っていた友人の姿がなく)

「あれ？来るって言ってたのに {来てない / ??来ない} な。」 (2')再掲

こういった特徴を踏まえ、尾崎（2000）では、シナイの「未完了」が使用されるのは事態が実現済みでないことを「各時点で」「直接」観察・確認する場合だとしているが、2.3節でも指摘したように、事態が実現済みでないことを、話し手が「各時点で」「直接」観察・確認する必要は必ずしもないと思われる。

用例を観察すると、シナイの「未完了」は、実現済みになるかどうかを話し手が以前から気にかけている状況、すなわち、話し手が実現済みになるか否か以前から把握する状況で、事態が実現済みにならないことを述べる場合に使用されることが分かる。例えば(19)は、合図か来るかどうか、以前から発話時まで見ているものの合図がないことを述べる状況であり、(20)は、学生が変化するように話し手が働きかけ、変化するか見ている中で変化がないことを述べている。

(19) (ドンは、レイからの合図を待っているが、合図がなく)

ドン「合図 {来ない / ??来テナイ} な。」 (アニメ『約束のネバーランド』)

(20) (生徒の態度を改めさせようと奮闘する袴田だったが、効果がなく同僚の冬月に相談する)

袴田「どんだけ一生懸命な態度してもあいつら何にも {変わらない / 変ワッテナイ} んですよ。それで…冬月先生聞いてます？」 (ドラマ『GTO』)

(19)(20)は、「各時点での直接観察」という記述でも説明可能であるが、次の(21)のように事態が実現済みでないことを「直接」確認していない場合にもシナイの「未完了」は使用される。(21)は、生徒が家に帰ったかどうかを学校で連絡を待ちながら気にかけている状況である。

(21) (夜遅くに同僚の教師が残っているのを見つけて)

A「あれ？まだ残ってるんですか？」

B「それが、うちのクラスの子がまだ家に {帰らない / 帰ってない} んです。帰宅の連絡があるまで学校に残らないといけなくて…。」

(21)のような場合でも使用可能であることから、以前から事態が実現済みでないことを話し手が「直接」観察・確認する必要は必ずしもなく、話し手が実現済みになるかどうかを以前から気にかけていること、すなわち、話し手が実現済みになるかどうかを以前から把握していることが重要だということが分かるだろう。尾崎（2000）が指摘した「各時点での直接観察」という文脈は、話し手が実現済みになるかどうかを以前から逐一確認しており、話し手が実現済みになるかどうかを以前から把握しているという特徴に典型的に当てはまるため、シナイの「未完了」が使用しやすいのだと考えられる。

さらに、当該事態が実現済みでないことを初めて知る場合であっても、実現済みになるかどうか話し手が以前から把握する中で実現済みにならない事態として捉えられる場合には、シナイの「未完了」が使用可能である。

- (22) (買い物に行った夫が帰ってこないで電話をしたら、店が閉まっているという。
妻は電話を切り、不満気に)

「11時なのにまだ {開かない / 開いてない}。早くご飯作らなきゃいけないのに。」

(16)再掲

- (23) (スパイダーマンになることが夢だという流佳をシェアハウスのメンバーも応援している。ある日、流佳の手首に何かに噛まれた跡があったことから、メンバーにスパイダーマンが糸を出すポーズをやってみろと言われ、やってみるが)

ペッペ「(特に何も起こらないのを見て) {出ない / ??出テナイ} な。」

流佳「まだ {出ない / ??出テナイ} な。」

(『TERRACE HOUSE TOKYO 2019-2020』)

(22)と(23)では、店が閉まっていることや、手首から糸が出ないことを初めて知る場合であるがシナイの「未完了」が使用されている。(22)(23)は、実現済みでないと知る以前から、実現済みかどうかを話し手が気にかけているような状況として捉えることが可能である。例えば(22)は、店が開かず、そのせいでご飯が作れない状態が続いている。そのため、いつ店が開くだろうかと待ち、把握する中で、実現済みにならない事態として捉えられているのだと考えられる。また、(23)も、糸が出ないことを知る以前から、スパイダーマンになりたくてもなれない、つまりは、糸を出したくても出せない状況が続いているため、早く糸が出ないか話し手が把握する中で実現済みにならない事態として捉えられている。事態が実現済みでないことを発話時に初めて知る場合であっても、(22)(23)のように、実現済みになるかどうか気かけ、把握している状況であれば、シナイの「未完了」は使用できるのである。

一方、同じく事態が実現済みでないことを初めて知る場合であっても、実現済みになるかどうかを把握していない事態には、シナイの「未完了」は使用しにくい。

- (24) (飲み会会場に着くと、来ると言っていた友人の姿がなく)

「あれ？来るって言ったのに {来てない / ??来ない} な。」

(2')再掲

(24)は、「会場に友人がいると思い込んでいた (が、いない)」という状況である。そのため、話し手が実現済みになるかどうかを以前から気かけ、把握しているとは言えず、シナイの「未完了」が使用しにくいのだと考えられる。

以上のことから、本稿では、シナイが「未完了」を表すためには、「実現済みになるかどうかを以前から把握する中で実現済みにならない事態として話し手に捉えられていること」が重要だと考える。

4. 「期待」に関する考察

4.1 「期待」という記述の再検討

シナイの「未完了」が使用される場合、当該事態が実現済みであることを話し手が望んでいるような場合が多いが、一方で、次の(25)や(26)のように、話し手が望んでいるとは言い難い場合も見られる。

(25) (久しぶりに故郷に帰り)

「前に帰省した時から随分経つが、{変わらない / 変わってない} な。安心した。」

(15)再掲

(26) 私はここで国家論を書き残そうと思わないが、一言書かずにいられなくなったわけだ。学生時代にも「国家論」で侃侃諤諤したものだが、まだ{終わらない / 終ワッテイナイ}。いや、終わるはずがない。」 (BCCWJ PB12 00100)

(26)は、「終わるはずがない」と述べられていることから、(25)と同様に話し手が実現済みであることを望んでいるとは説明しにくい。(25)(26)のような場合もあることから、話し手が実現済みだと期待している(望んでいる)ことが重要だとするのは的確ではないだろう。

(25)(26)のような場合でも使用可能であることを踏まえると、シナイが「未完了」を表すために重要なのは、話し手が、当該事態が実現済みになっているという想定のもとで述べていることだと考える。

例えば、(27)(28)のように話し手が実現済みだと望んでいる場合は、当該事態が実現済みになっているという話し手の望み(=想定)に基づいて述べていると言えるだろう。

(27) 登は思い切り子猫をふり上げ、材木の上に叩きつけた。指の間にはさまっていた温かく柔らかなものが、空気を切って、飛び去るのはすばらしかった。しかし指にはまだ、柔毛の感触がほのかに残っていた。

「まだ死なない。もう一度」

(7)再掲

(28) (妻はおせちの準備をしながら駅伝のランナーがスタートしたかどうかを気にかけている。妻はテレビを見ている夫に)

妻「もうスタートした?!」

夫「いや、開始時間は過ぎてているけどまだ {走ってない / 走らない} な。」 (3)再掲

一方、(25)(26)は、当該事態が実現済みだと話し手が望んでいるわけではない。しかし、(25)の「前に帰省した時から随分経つ」、また(26)の「学生時代にも『国家論』で侃侃諤諤したものだ」という言葉から、「以前帰省した時から随分経つから変化があってもいいようなものだ」、「学生時代に国家論についてあれだけ議論したのだから十分なはずだ」というように、当該事態が実現済みになっているという想定に基づいて話し手が述べていると考えられる点では、望ましく思っている場合と共通するのである。

なお、工藤(1996:93)では、「話し手または聞き手に強く〈期待〉されている場合(下線は引用者による)」というように、聞き手が期待している場合もシナイが「未完了」を表すとされているが、シナイの「未完了」においては、話し手が実現済みになっているという想定のもとで述べていることが重要であることを主張したい。例えば、(29)では聞き手が「桜が咲いている」と想定しているが、話し手は「桜が咲いている」という想定に基づいていないため、シナイは「当分実現しない」という意味解釈が優勢になり、「未完了」の意味解釈はしにくい。

(29) A「お宅の桜もそろそろ見頃なんじゃない？」

B「いやいや、うちのは例年遅咲きだからまだ {咲いてない / #咲かない} よ。」

Cf. A「お宅の桜もそろそろ見頃なんじゃない？」

B「それが4月なのにまだ {咲かない / 咲いてない} のよ。」

シナイが「未完了」というアスペクト的意味を表すか否かを左右するのは、あくまで話し手の想定であって、聞き手の想定は本質的に重要なものではない。

また、第3節の内容とも関連するが、以前から発話時までを含めて実現済みになっているという想定のもとで述べていることも重要である。話し手が実現済みになるかどうか気にかけていても、発話時以前は実現済みになっているという想定に基づきにくい場合、シナイの「未完了」は使用しにくい。

(30) (旅行先で偶然美味しそうな居酒屋を見つけた。張り紙を見ると1時間後に開店だったので、ワクワクしながら1時間後に再度来てみたが)

「1時間経ったのにまだ {開いてない / ?開かない}。」

(30)では、店の開店時間が発話時であり、開店時間になる以前から事態が実現済みだと想定されにくい状況である。シナイを使用した場合、話し手が開店時間になる以前から事態が実現済みだと想定されることを述べる発話になるため、ここではシナイよりシテイナイの使用がより適切である。シナイの「未完了」は、話し手が、以前から発話時までを含めて話し手が実現済みになっているという想定に基づき、その想定が外れ続けている状況

で使用されるのである。

以上のことから、本稿では、工藤（1996）の「期待」という特徴を、「以前から発話時までを含めて、話し手が実現済みになっているという想定のもとで述べていること」と捉え直したい。

さて、ひとくくりに「以前から発話時までを含めて、話し手が実現済みになっているという想定のもとで述べる」といっても、シナイの「未完了」には実現済みだと望んでいる場合（ex.(27)(28)）も見られれば、一方で望んでいない場合（ex.(25)(26)）も見られ、様々な場合があることが窺えよう。そこで、次小節では、シナイの「未完了」における「想定」にどのようなタイプがあるのか、その内実を見ていく。

4.2 「想定」のタイプ－「願望タイプ」と「推論タイプ」－

シナイの「未完了」の「想定」は、「願望タイプ」と「推論タイプ」の二種類に大別される。

まず、「願望タイプ」は、事態が実現済みになっていることへの望ましさに基づいて述べる評価的なものである。例えば、(31)(32)(33)が「願望タイプ」に分類される。

(31) (友人AとBが、よく休載するBの好きな漫画について話をしている)

A「そういえば、君の好きなあの漫画、あれからどうなったの？」

B「それが作者が病気になったとかでまた休載中なんだ。早く新刊が読みたいんだけど、まだ {出なくて / 出てなくて}。」

(32) 子供の日、幸運の四葉のクローバーを夢中になって探したことを思い出す。(中略) 場所によっては数十本ゴソッと。おお、幸せがここに、とばかりすべて摘み取り、かつてのように押し葉にしてみる。(中略) 懲りもせず毎年こうやって貯まった押し葉が手元にはたっぷりとあるが、押し葉の数ほどの幸運ははまだ {訪れない / 訪レテイナイ}。」
(BCCWJ Lbj 3_00068)

(33) (村井の態度を改めさせようと奮闘する教師・袴田だったが、効果がない。それを同僚の冬月に相談する。)

袴田「どんだけ一生懸命な態度しても、あいつら何にも {変わらない / 変ワッテナイ} んですよ。それで…冬月先生聞いてます？」
(20再掲)

例えば、(31)と(32)は、波線部の言葉から「早く新刊が出てほしい」「早く幸運が訪れてほしい」と、実現済みになっていることへの望ましさに基づいて述べていると言える。また、(33)も「あいつらに態度を改めてほしい」といった望ましさをもとに述べていることが分かるだろう。

一方、これらとは別のタイプとして「推論タイプ」がある。「推論タイプ」は状況から

話し手が推論し、当該事態が実現済みになっているという想定を帰結として導き出し、その帰結に基づいて述べるという論理判断的なものである。例えば、(34)(35)(36)のような例が「推論タイプ」に分類される。

(34)「それでお前さんが指揮者なのか」

「指揮者は県庁の役人です。もう集合時間をとっくに過ぎているのですが、来ないのです。役人は怠慢でよくない」
(工藤1996：95)

(35) (久しぶりに故郷に帰り)

「前に帰省した時から随分経つが、{変わらない / 変わってない}な。安心した。」
(15)再掲)

(36) 私はここで国家論を書き残そうと思わないが、一言書かずにいられなくなったわけだ。学生時代にも「国家論」で侃侃諤諤したものだが、まだ {終わらない / 終わってない}。いや、終わるはずがない。」
(26)再掲)

(34)は波線部の言葉から、話し手が予定(=状況)をもとに推論し、「集合時間を過ぎているのだから来ていてもいいはずだ」という想定を帰結として導き出し、それに基づいて述べていることが分かる。(35)(36)は、「前に帰省した時から随分経つから故郷に変化があっていい」「学生時代にあれだけ国家論について議論したのだから議論が尽きていい」というように、社会通念(=状況)に基づいて推論し、当該事態が実現済みであるという想定を帰結として導き出し、それをもとに述べていると言える。

「推論タイプ」が「願望タイプ」と異なる特筆すべき特徴としては、話し手が実現済みになっていると望んでいる否かに関わらず使用可能であることがあげられる。

例えば、話し手が実現済みになっていることを望んでいるかという観点から「推論タイプ」の例を見た場合、(35)と(36)において話し手は、実現済みだと望んでいるとも期待していないとも言えない中立的な見方で捉えているように思われる。

また、(34)は、予定から実現済みになっているという帰結を導き出し、話し手自身もそれを望んでいるという点では願望タイプにも近いが、(34)のように、当該事態が実現済みになっていることを話し手が望んでいなくとも使用可能である。

(34)「それでお前さんが指揮者なのか」

「指揮者は県庁の役人です。それが奴は怠慢な男でして、もう集合時間をとっくに過ぎているのですが、来ないのです。役人は怠慢でよくない」

(工藤1996：95を一部改変)

「推論タイプ」は、実現済みになっているという帰結を導き出していることが重要であ

り、その帰結に対する話し手の評価は問題にならない。工藤（1996）では言及がされていないが、シナイの「未完了」には、このように話し手が実現済みであることを望んでいるか否かが問題にならないタイプもあるのである。

このように、工藤（1996）の「期待」という記述を「想定」という観点から捉え直すことにより、「期待」という記述では説明が難しい場合も含め、シナイが「未完了」を表す文脈を的確に記述できる。加えて、「想定」に「推論タイプ」「願望タイプ」という二つの異なるタイプを認めることで、シナイの「未完了」におけるさまざまな「想定」の内実を整理することが可能であろう。

5. おわりに

本稿では、先行研究で指摘されているシナイが「未完了」を表す文脈の特徴を捉え直し、シナイが「未完了」を表す文脈の条件について再検討した。

まず、尾崎（2000）の「各時点での直接観察」については、事態が実現済みでないことを、話し手が「各時点で」「直接」観察・確認する必要は必ずしもなく、「実現済みになるかどうかを以前から把握する中で実現済みにならない事態として話し手に捉えられていること」が重要であることを明らかにした。

また、工藤（1996）の「期待」については、話し手（あるいは聞き手）が実現済みであることを望んでいない場合も見られることから、「以前から発話時までを含めて、話し手が実現済みになっているという想定のもとで述べていること」と捉え直した。さらに、シナイの「未完了」の「想定」には、「願望タイプ」と「推論タイプ」という二つの異なるタイプがあることを明らかにし、「推論タイプ」の場合には、話し手が実現済みになっていることを望んでいるか否かを問題にしないという特徴があることを指摘した。

以上のことをまとめると、シナイが「未完了」を表す文脈的条件は以下ようになる。

- i. 当該事態が実現済みになるかどうか、話し手が以前から把握する（している）こと
- ii. かつ、把握する当該事態が実現済みになっているという想定のもとで、話し手が述べていること

また、上記の文脈的条件を踏まえると、シナイの「未完了」は、「実現するか否か把握する中で、話し手の想定とは異なり、事態が実現済みでない状況が続いていることを述べる」表現だと言えよう。上記のような特定の条件下において、シナイは以前から発話時まで事態が実現済みでないという意味を表し、発話時に事態が実現済みでないことを表すシナイに意味が接近するのだと考えられる。

今後は、なぜこういった文脈下において、シナイが「未完了」（＝開始限界未達成・終了限界未達成）というアスペクトの意味を表すのかについて検討したい。先行研究である工藤（1996：95）では、シナイが「未完了」を表す場合の「期待」という特徴について、

「完成相スルの否定であるから」だと述べられている。確かにスルにも「限界達成性」「限界到達」といったアスペクト意味が認定されることがある（工藤（1995）、須田（2010））。しかし、工藤（1996）では「期待」がスルのこういった特徴と関連づけられるのかが説明されていない。そのため、今後は、本稿で明らかになったシナイが「未完了」を表す文脈が、肯定形式スルのこういった特徴と関連づけられるのかについて考察を深める必要があると考える。

注

- 1 完了/未完了という用語は、日本語学会編（2018：18）でも「限界点から、結果の継続、さらには動作の継続に至るまで、ほぼ全てのアスペクト概念が、なんらかの形で『完了』として言及されており、その内実は研究者によって異なる」と述べられているように、研究者によって捉え方が異なるが、本稿では、限界点の観点からこのように定義する。
- 2 本稿では実例と作例を用いている。実例は、映画、ドラマ、アニメ等の作品の台詞を筆者が書き起こしたものと、BCCWJから収集したものがある。前者には作品名を、後者にはサンプルIDを記載し、表記は、実際に使われている形式をひらがな、筆者が加筆した形式をカタカナにしている。また、そのほか特に記載のない用例は作例である。
- 3 “#”はその文脈では意図した意味とは別の意味解釈になることを表す。
- 4 日高（1995）では、シナイで「未完了」を表しやすい動詞として、「届く」「戻る」「いく」等があげられている。道法・白川（2019）では、次のような例とともに、これらの動詞であっても文脈の関わりがなければ、シナイは「未完了」を表しにくいと指摘されている。詳しくは道法・白川（2019：5-6）を参照されたい。
荷物はまだ {#届かない / 届いていない} と思う。 （道法・白川2019：6）
参加者はまだ50人に {#いかない / いない} と思う。 （同上）
- 5 なお、工藤（1996）と尾崎（2000）では、前掲(1')のような「当分実現しない」ことを表すシナイをシナイの〈未来〉用法とし、それと比較して本稿のシナイの「未完了」をシナイの〈現在〉用法としている。
- 6 以下、「事態が実現済みであること」に統一する。

参考文献

- 井上 優（2001）「現代日本語のター主文末の「…タ」の意味についてー」つくば言語文化 フォーラム 編『「た」の言語学』pp.97-167、ひつじ書房
- 尾崎寿津（2000）「シナイの〈現在〉用法をめぐってーシテイナイとの比較からー」『岡山大学大学院文化科学研究科紀要』10（1）、pp.41-55、岡山大学大学院文化科学研究科
- 工藤真由美（1995）『アスペクト・テンス体系とテキストー現代日本語の時間の表現ー』ひつじ書房
- 工藤真由美（1996）「否定のアスペクト・テンス体系とディスコース」言語学研究会編『ことばの科学』7、pp.81-136、むぎ書房
- 須田義治（2010）『現代日本語のアスペクト論』ひつじ書房
- 高橋太郎（1988）「うちけしのテンスについて（広池千九郎博士没後50年・日本語学開設記念特集）」『麗沢大学紀要』47、pp.75-96
- 道法愛・白川博之（2019）「シナイの「未完了」用法についてーシテイナイと比較してー」『広島大学日

本語教育研究』29、pp.1-8、広島大学大学院教育学研究科日本語教育学講座
日本語学会編（2018）『日本語学大辞典』東京堂出版
日高水穂（1995）「「マダ～シナイ」と「マダ～シテイナイ」－未実現相の否定表現－」
宮島達夫・仁田義雄編『日本語類義表現の文法（上）』pp.151-158、くろしお出版

用例出典

『現代日本語書き言葉均衡コーパス』（BCCWJ）中納言 <http://chunagon.ninjal.ac.jp/>
『約束のネバーランド（アニメ版）』2019年-2021年、約束のネバーランド製作委員会
『GTO（ドラマ版）』1998年、関西テレビ放送 / アベクカンパニー
『TERRACE HOUSE TOKYO 2019-2020』2019年-2020年、フジテレビ / イースト・エンタテインメント

—どうほう・まな、広島大学大学院人間社会科学研究所博士課程後期在学—